

327号

2026年
9月

日赤みやぎ



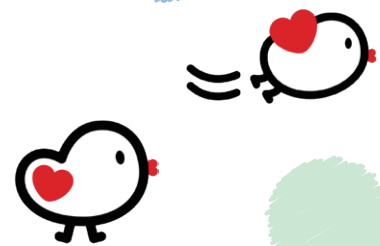
宮城県支部では、県内の青少年赤十字(JRC: Junior Red Cross)に加盟する中高生を対象に、リーダーシップの取り方を学ぶ「リーダーシップ・トレーニング・センター(通称:トレセン)」を毎年8月の夏休み期間中に開催しています。

今年は当支部を会場に8月3日(月)から5日(水)までの2泊3日で開催し、JRC中高生メンバー20名が参加しました。参加者からは「とても学びのある時間を過ごすことができました。普段の学校生活や部活で生かしていきたいです」、「初めて知ることや新たな友達との出会いが多く、充実した良い夏休みの思い出になりました」などの感想が寄せられました。

令和8年熊本地震災害義援金受付中

詳細はこちらから





JRC オンライン語り部 LIVE



～震災の記憶と教訓を「災害を乗り越える力」に！～

これまで全国から延べ**455校・33,755人**の児童・生徒が参加！

日本赤十字社宮城県支部は、宮城県内及び全国のJRC(青少年赤十字・Junior Red Cross)加盟校の**子どもたちに被災地の想いを繋ぎ、災害発生時には自分のいのちをしっかりと守ることができるよう**公益社団法人3.11 メモリアルネットワークと協働して、語り部さんの生の声をオンラインで配信しています。

語り部 LIVE の特徴



宮城県支部公式 YouTube 動画でも紹介しています！

公益社団法人 3.11 メモリアルネットワークの公式ホームページはこちら



語り部さんからの♡メッセージ

これまで宮城県・岩手県・福島県ご出身の24人の語り部さんに子どもたちへ向けて、震災の体験と自分のいのちを守るためにできる行動、大切にしてほしいことなどをお話しいただきました。

本事業の開始時からご協力いただいている語り部の**阿部 任**さんからメッセージをお寄せいただきました。

JRC オンライン語り部 LIVE を通して、全国の小中高校生が真剣に耳を傾け、「自分ならどうするか」と考える姿から、私自身も多くを学ばせていただいています。語り部の話は、悲しい過去や防災の手段を学ぶだけではありません。自分や家族、友達のいのち、日々の営み、あるいは将来の夢や苦しいことへ踏み出す一歩を考えるきっかけになればという想いで伝えています。東日本大震災から 15 年。あの時の子どもから今の子どもたちへ、生きる力を手渡す機会をつくってくださる日本赤十字社宮城県支部の皆様と一緒に続けてまいります。



阿部さんの被災体験のお話や、お話を聴いた生徒の感想については、2026 年 3 月に発行された「赤十字 NEWS3 月号」からご覧いただけます。



参加した子どもたち・先生からの声♡



小学生

- いつ地震が起きるか分からないので、**家族で話し合い**をしたり、準備をしておきたいと思いました。
- 『**ありがとう、ごめんねは思った時に伝える**』と聞き、家族や友達に思いをしっかりと伝えようと思いました。



高校生

- 『**自分は大丈夫**』などと**油断することが危険**だと知りました。
- **自分ごとのように考えることの大切さ**を感じました。災害について、自分のできることを考え、行動していきたいと思いました。



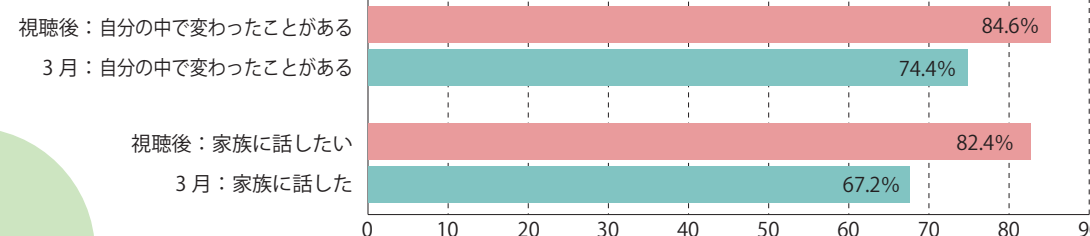
中学生

- 語り部さんの話を聞いて、ハザードマップを確認することや想定外を想定内にする、**自分の命は自分で守る**など、地震や津波、災害に関する考え方が変わりました。
- 『いつか災害が起きる』ではなく、『**今災害が起きたら**』が大切だと思いました。

2021 年～2025 年度の調査結果

語り部 LIVEを視聴して子どもたちの意識と**行動に変化**が！

n=3,876



出典：公益社団法人 3.11 メモリアルネットワーク、2026、語りを通じた防災意識変化、行動変化（2021～2025 追跡調査）、公益社団法人 3.11 メモリアルネットワークホームページ、（2026 年 7 月 17 日取得、https://311mn.org/info92）

参加された先生から

- **他地域の児童の様子**を見ることで、**学習への意欲**にもつながりました。
- 震災を知らない世代に震災の教訓・伝承をしていくと考えると、映像や文章だけではなく、リアルな被災体験の話や、**語り部さんの感情や涙は子どもたちの心に響く**と感じました。

語り部さんのお話を聞いて「自分の中で変わったことがある」と回答した子どもたちからは、「大切な人を守りたい気持ちが強くなった」、「家族や地域の人によくあいさつするようになった」、「一日一日を大切に過ごすようになった」などの変化があったことを教えてもらったガー！



今年も開催します！ 「JRC オンライン語り部 LIVE 2026」

時期：令和 8 年 12 月～令和 9 年 2 月
対象：全国の青少年赤十字（JRC）加盟校、宮城県内の学校（JRC 未加盟校も視聴可）
内容：40 分プログラム
60 分プログラムの 2 種類

開催日時や語り部さんの情報、お申込み方法など詳細については当支部公式 HP をご覧ください。



一人でも多くの子どもたちに語り部さんのお話を聴き、災害時にはいのちを守る行動につなげてほしいと考えています。ご参加お待ちしております！機会がありましたら、学校関係者の方にお伝えください。よろしくお願いいたします。

宮城県支部のトピックス



赤十字講習100周年記念 キャラバンイベントを実施しました！



日本赤十字社では赤十字講習100周年を記念して、全国でイベントを実施しており、宮城県では6月6日(土)に、イオンモール仙台上杉を会場に「赤十字講習100周年記念キャラバンイベント」を実施しました。

会場では、一次救命処置やAED体験ブース、救護服や看護実習衣の子どもサイズの試着・撮影ブース、全国のイベント会場を巡るメッセージ横断幕に書き込めるブースなどを展開しました。

当日は、221名の方がイベントに参加いただき、大盛況で終わることができました。

100年もの間、赤十字講習を継続できたのは、今回もご協力いただいたボランティアの講習指導員や地域の奉仕団の方々といった赤十字の理解者の大きな支えがあったことは言うまでもありません。

日本赤十字社は、赤十字講習101年目を先の未来へつなげる「いのちと健康を守るバトン」として、これからも赤十字講習を実施していきます。



▲ハートラちゃんとパチリ



◀メッセージもいただきました

赤十字奉仕団委員長・団長会議を開催しました！

6月20日(土)・24日(水)に赤十字奉仕団委員長・団長会議を当支部で開催しました。2日間で計72名の委員長・団長の皆さんが県内各地から参加され、地域で取り組まれている日頃のボランティア活動などを共有されました。

また、赤十字講習の紹介として、健康生活支援講習「人生会議とエンディングノート」を体験いただきました。

「人生会議」では、医療・生活ケア・人間関係・価値観の4種類のカードの中から今の自分の気持ちに一番近いものを1枚ずつ選び、人生の最期をどのように迎えたいか、そのためにどう過ごしていくか、ご自身の気持ちを整理してもらいました。参加者からは「前向きにこれからのことを考えることができました。奉仕団の仲間と一緒にまた受講してみたいです。」と感想を寄せられました。



▲皆さんで講習を受講されている様子



▲カードを使って各々の気持ちを整理しました

塩竈市立第三中学校で防災セミナーを開催しました

6月14日(日)、塩竈市立第三中学校にて防災セミナーを実施しました。1年生へは「災害への備え」の講義及び「家具安全対策ゲーム」(自宅の家具の安全対策の必要性を理解するカリキュラム)、2年生へは「ひなんじょたいけん」(避難所における「自助」や「共助」の対応力を養うカードゲーム)を実施。

受講した生徒からは、「家族で避難経路を確認したり、防災グッズを揃えたりしてみようと思いました。」「避難の工夫の仕方を学びながらできるゲームはいいなと思いました。」などの声が寄せられました。

東日本大震災を経験していない世代にとっても、防災について考えるきっかけとなる有意義な時間となったなら幸いです。



宮城県内 施設のトピックス



市民セミナーを開催しました！

6月13日(土)名取駅コミュニティプラザにおいて今年度1回目となる市民セミナーを開催いたしました。「内視鏡ワールドへようこそ」と題し、消化器内科副部長 大森医師による講話を行いました。普段診察室ではできない質問が多く飛び交う賑やかなセミナーになりました。

第2回の市民セミナーは9月26日(土)に八木山市民センターで実施を予定しております。地域の皆さまの健康の一助になるような企画を計画中です。



▲大森医師による講演



▲質疑応答も活発でした！

仙台赤十字病院

研修医と看護師による院内コンサートを開催

6月26日(金)、当院の本棟1階赤十字プラザにおいて、院内コンサートを開催しました。今回は、当院の研修医2名がバイオリン、看護師1名がピアノを担当し、美しい演奏を披露しました。

プログラムでは、スタジオジブリ映画「となりのトトロ」の『さんぽ』をはじめ、ディズニーの名曲など、子どもから大人まで楽しめる楽曲が演奏され、多くの患者さんやご家族、職員が心地よい音色に耳を傾けました。また、演奏に合わせて手拍子をする姿も見られ、笑顔あふれる楽しいひとときとなりました。

今後も音楽を通じて、患者さんやご家族に癒やしの時間を提供するための取り組みとして、院内コンサートを継続し開催してまいります。



▲演奏を披露した研修医2名(バイオリン)と看護師1名(ピアノ)



会場の様子▶

石巻赤十字病院

新しい献血バス



▲納車式の様子

日本赤十字社は1967(昭和42)年より日本宝くじ協会様から社会貢献助成事業の一環として継続的に献血バスをご寄贈いただいております。

今年度は、宮城県赤十字血液センターに献血バス「宝くじ号」が仲間入りしました！

暑さ寒さ対策も万全。これまで以上に快適な献血空間を提供します。



◀献血バス内部

宮城県赤十字血液センター

宮城県の ご当地ハートラちゃんが 誕生しました

この度、全国47都道府県のご当地ハートラちゃんが完成し、宮城県では「七夕ハートラちゃん」が誕生しました!

毎年8月6日～8日に開催される仙台七夕まつりの七夕飾りを背景とし、手にはずんだ餅をもっています。

今後、様々なシーンで活躍する七夕ハートラちゃんが見られるかも…?

詳しい紹介や各都道府県のご当地ハートラちゃんは特設サイトをご覧ください!

これからよろしくガー!／



ご当地ハートラちゃん
特設サイト



(ワールド・ファーストエイド・デー)

今年も世界救急法の日 イベントを実施します!

赤十字では9月の第2土曜日を「ワールド・ファーストエイド・デー／世界救急法の日」と位置づけ、毎年県内のイオンモールを会場に一次救命処置体験イベントを実施しています。

本イベントを通じて、身近な人や大切な人の命を救う知識や技術を身に付けることができます。

おひとりでも、ご家族でも一緒に体験できますので、お近くにお越しの際にはぜひご体験ください。なお、事前予約及び参加費は不要です。

※体験で使用する人形の数に限られているため、満員の場合は少々お待ちいただく可能性があります。

【会 場】

- ・イオンモール新利府 北館2階 イベントコート
- ・イオンモール石巻 1階 緑の広場

【日 時】

- ・9月12日(土) 10:00～16:00
- ※両会場とも同日に実施します。

【問合せ先】

日本赤十字社宮城県支部 事業推進課
講習・地域事業推進係 TEL:022-725-7530

お役立ち情報

非常食かんたんレシピ



* アネちゃんの * かんたんごはん帳 Vol.37 紅茶寒天&フルーツのデザート

非常時には食物繊維不足になりがちに。そしてむしように甘い物が欲しくなることも。そんな時にオススメなのが、ポリ袋を使って粉寒天で作るデザート。寒天は常温で固まるという特性があるので、個包装の粉寒天を常備しておけば停電で冷蔵庫が使えなくても簡単に繊維質たっぷりのおやつが作れます! 以前ご紹介したコーヒーマン寒天&練乳も美味しいですが、今回は紅茶寒天とみんな大好き乳酸菌飲料の原液をソースにするレシピをご紹介します。練乳もそうですが、薄めてしまうと物足りなくなりがち。でも原液そのままをソースにすると、甘さがダイレクトに感じられ、少量でも物足りなさを感じにくくなります。未開封で9ヶ月保存可能、開封したら冷蔵保存必須なので、ローリングストックして、災害時には早めに使い切りましょう!

アネ(牧野純子)
イラストレーター・FCAJ 認定フードコーディネーター
仙台市在住 赤十字防災ボランティア
出版社、CM 制作会社を経てフリーランスとして活動中

* 材料 (4人分)

- A 紅茶飲料(無糖)…500ml(ペットボトル1本)
- 粉寒天…4g(1包) ※加糖のものでもOK
- B フルーツ缶(桃・ミックス)…1缶(190g程度)
- C 濃縮乳酸菌飲料原液…適量

※大さじ1.5使用でボトル1本(470ml)から10人分程度のソースとなります

* 作り方

1. Aのペットボトルに粉寒天を入れ、蓋をして20回ほどしっかりとシェイクする。
2. 1を耐熱ポリ袋に入れ、空気を抜いて結ぶ。
3. 鍋にたっぷりの湯をわかし、2を入れる。再沸騰してから10分程度、粉寒天がすっかり溶け切るまで、沸騰した状態で加熱する。

※ポリ袋破損防止のため鍋底にザルや耐熱皿を入れる
※ポリ袋がパンパンに膨らんだら、袋の中も沸騰状態で粉が見えなければ粉寒天が煮溶けているしるしです

4. 火を止め、3の袋をバット等に取り出す。

※1時間ほどで固まる、それまで決していじらないこと

5. 4を崩しながら盛り、Bを添えてCをかける。

※フルーツ缶のシロップもかけてOK

